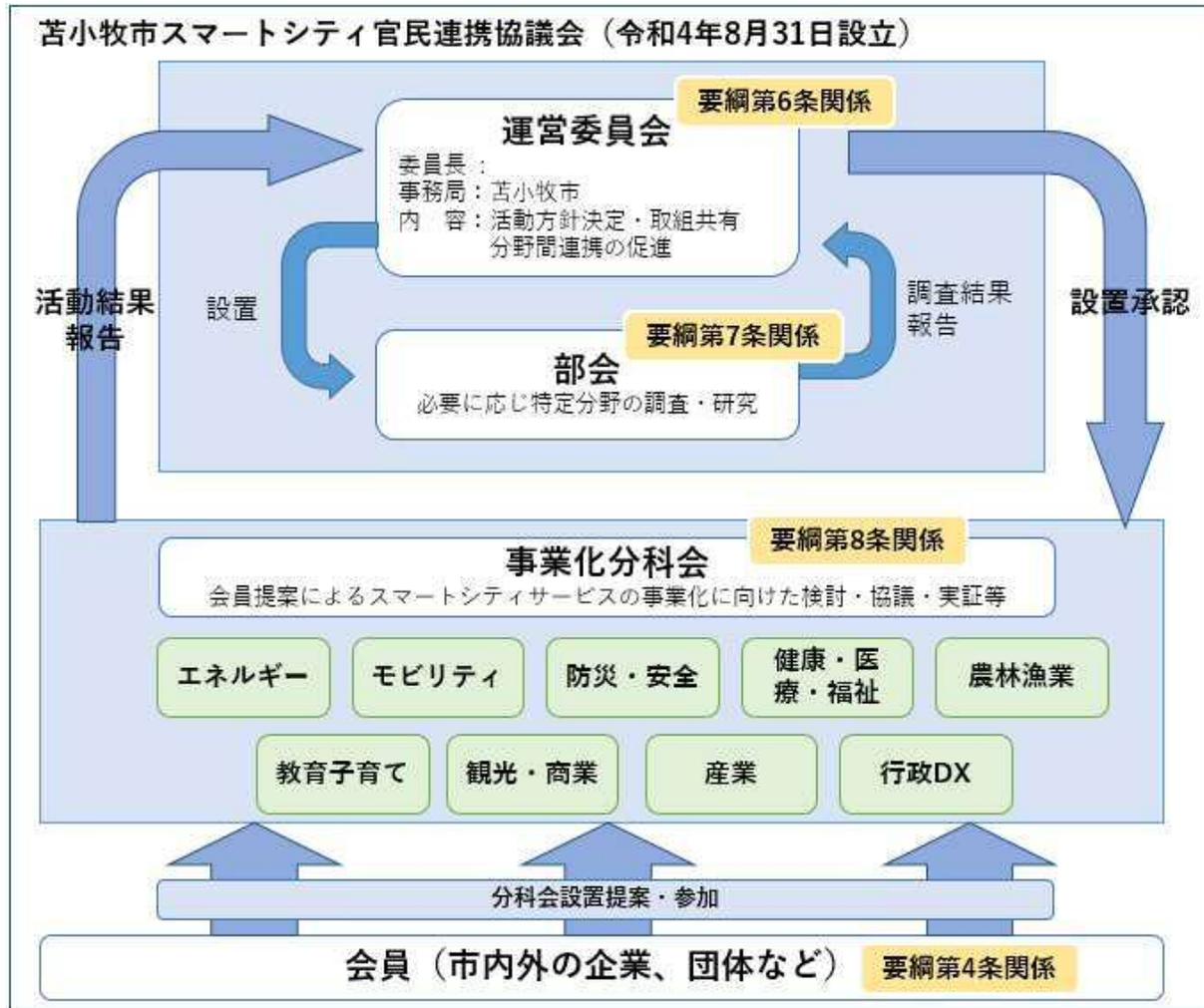


苫小牧市スマートシティ官民連携協議会の体制

苫小牧市スマートシティでは、産官学民からなる「苫小牧市スマートシティ官民連携協議会」を構築し、人間環境都市の実現に向けて知恵を合わせて各種施策に取り組みます。これにより、市民幸福度(well-being)の向上、行政課題の解決はもとより、民間企業の事業範囲の拡大や、学術機関における研究・教育プロジェクトの後押しにもつなげていきます。



【官民連携協議会の機能】(要綱第3条関係)

- ・ 分野間連携の促進
- ・ データ利活用の推進
- ・ 会員間の情報共有や連携支援
- ・ 事業化支援
- ・ 啓発
- ・ スマートシティ推進のための人材育成

【運営委員会の所掌事務】(要綱第6条関係)

- ・ 苫小牧市スマートシティ官民連携協議会の活動方針の決定
- ・ 各分野における取組共有
- ・ 分野間連携の促進
- ・ 部会の設置
- ・ 事業化分科会の設置承認
- ・ その他会員登録等の事務

【部会の所掌事務】(要綱第7条関係)

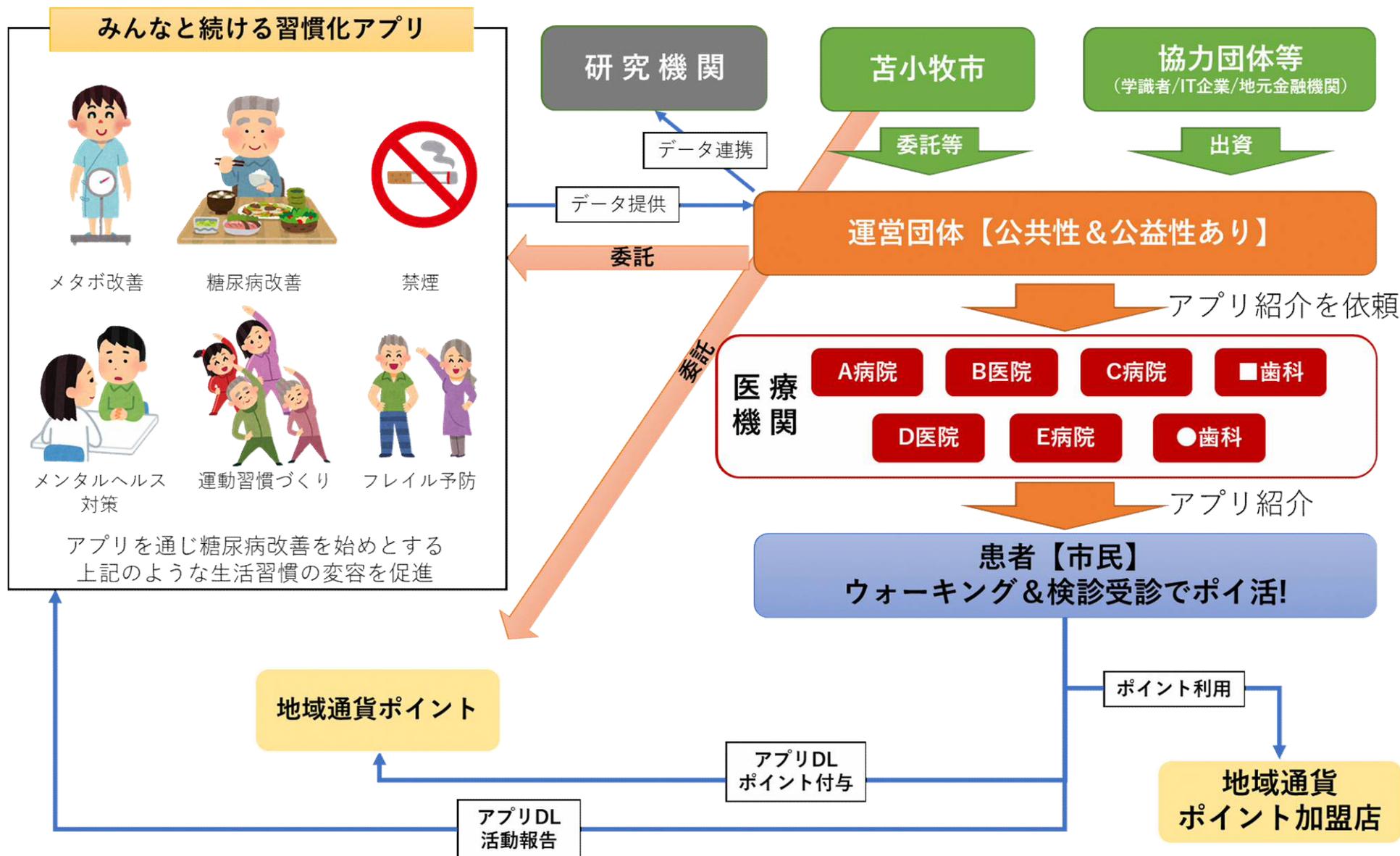
- ・ 必要に応じた任意の分野のスマートシティ施策に係る調査・研究

【事業化分科会の所掌事務】(要綱第8条関係)

- ・ 会員提案によるスマートシティサービス案の事業化に向けた検討・協議・実証等

PHRサービスを起点とした糖尿病重症化予防チャレンジ事業の促進

- 糖尿病の罹患率が高い本市において、市民が自主的に生活習慣の変容が図れるよう、運営団体によるPHRサービスを起点とする糖尿病の重症化予防を促進し、新規透析者の減少を目指します。
- またデータを活用・統計処理を実施し効果的な検診受診勧奨や啓発事業につなげます。



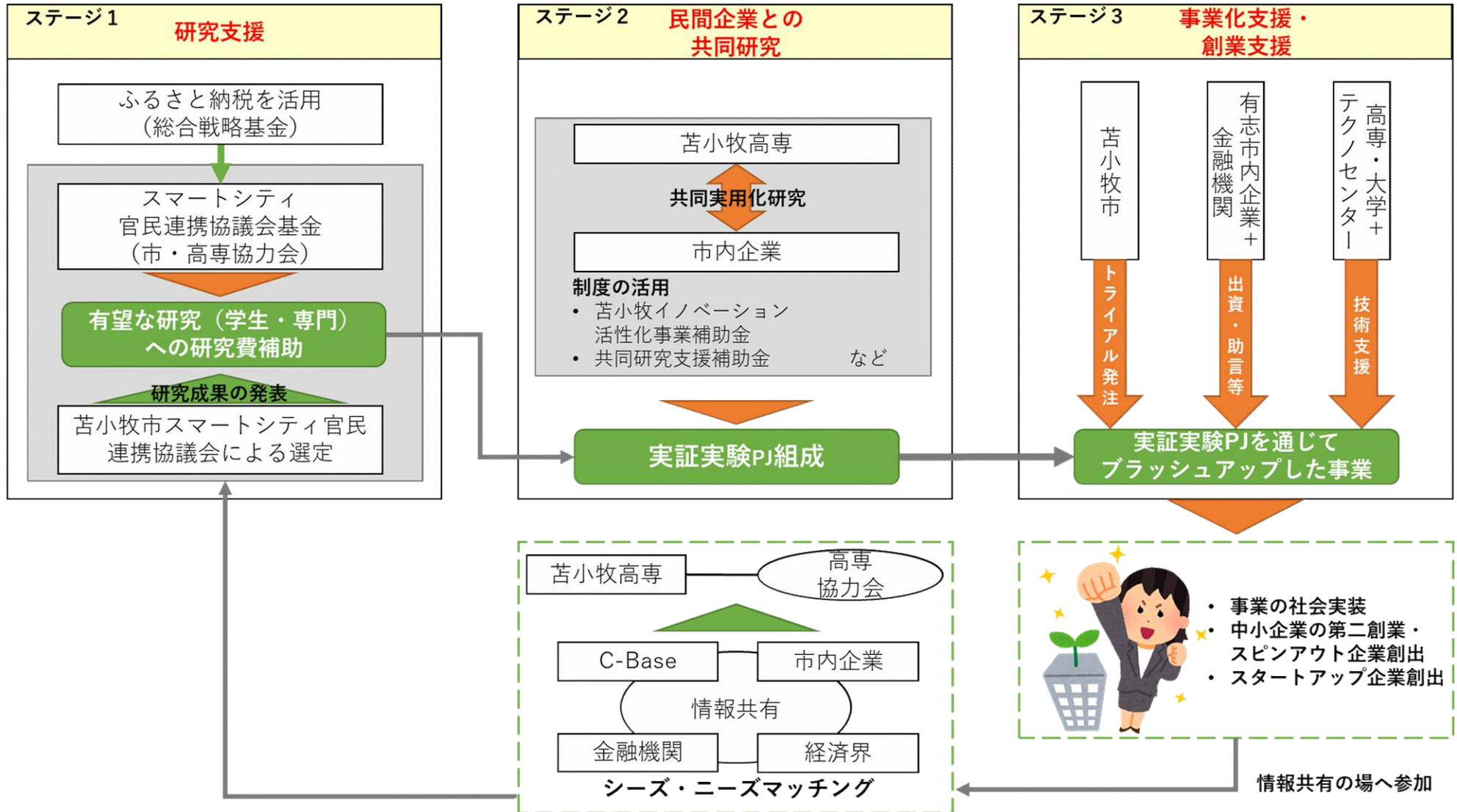
無医療地区医療MaaS

- 病院・薬局がない地区の医療環境整備のため、公民館等にテレプレゼンスシステムを設置し遠隔診療を行います。
- 公民館等への移動には低速モビリティを展開します。
- 処方薬の配送には宅配サービスを活用し、将来的にはドローンや自動配送ロボを活用します



高専,高専協力会,地元企業のアイデアを軸とした創業・新事業創出スキームの整備

- 学生教育、創業支援、スマートシティサービスの創出を狙いとし、下記のような3段階からなる循環スキームの確立に取り組めます。

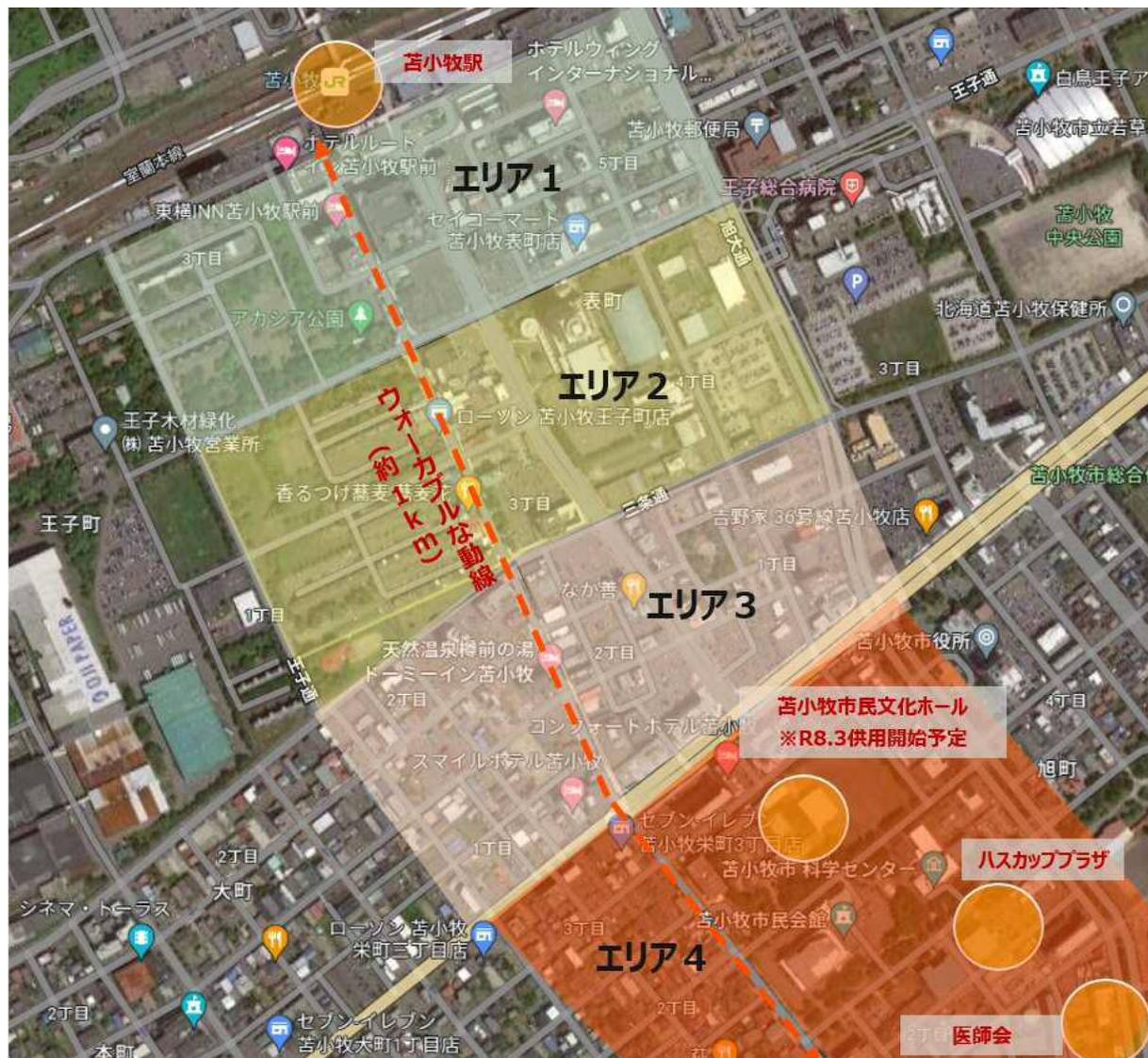


制度の狙い

地元学生の起業教育 / 産学の情報収集機能強化 / 新たな起業機会・スマートシティサービスの創出

駅前回遊性向上×賑わい創出

- ・滞在快適性等向上区域制度(まちなかウォークブル区域)、歩行者利便増進道路指定制度(ほこみち)を苦小牧駅前空間に適用するするとともに、低速モビリティ、自動配送ロボを導入し、人が楽しめ、歩きたくなる駅前の創出を目指します。



【各エリア内での低速モビリティ】

- ・王子通、三条通、国道36号で区切られた各エリアの中で低速モビリティを展開
- ・低速モビリティ自体を集客コンテンツとして、まちなか回遊性の向上につなげる
- ・また、自動配送ロボによる駅前から駅周辺宿泊所までの荷物自動配送も実施。駅到着から身軽にビジネスや観光へ



(出所) 神戸市他 都心三宮における新たなモビリティ活用に向けた実証実験の実施について ～ウォークブルなまちの実現にむけて～ フライヤー